

わが国のカンチレバー PC 橋の設計・施工における先駆者である百島祐信様が、2016年3月30日に享年91歳でお亡くなりになりました。

ここに百島様のご功績とご遺徳を偲び謹んで哀悼の意を表します。

PC 橋梁の新しい時代を切り開かれた百島様から学ぶべきことは多く、今後の PC 橋梁の発展を期す後進にまだまだご指導をいただきたかったのですが、大変残念でなりません。

また、百島様は建設業界の方々はもとより、御発注者、官の多くの方々、大学・学識経験者の多くの方々を友人にもち、多くの後輩の方々とともに、PC 技術、PC 業界の発展に寄与されて来られました。皆様方とはよく御一緒され、熱き思いで語られておられたのを思い出します。

百島様との繋がり深い諸先輩を差し置きまして、このような形で追悼を申し上げますのは甚だ僭越ではございますが、ご指名でございますのでご生前ご指導いただきました1人として追悼文をしたためたいと思います。

百島様は、1925年（大正14年）東京のお生まれで、終戦後に東京大学に入学、1951年（昭和26年）に第一工学部土木工学科を卒業され、鹿島建設に入社されました。

百島様は、長年に渡りわが国の橋梁建設の指導的役割を果たしてこられました。入社後プレストレストコンクリートに本格的に取り組まれたのは、ドイツ・ディビダーク社の技術研修生として旧西ドイツに派遣された1959年（昭和34年）のことです。鹿島建設が橋梁建設を本格的に始めたのがちょうどこの頃で、別子建設（現三井住友建設）とともに、建設会社として早期にディビダーク社の技術を導入しました。百島様は、岩手・横黒線の「鷲の巣川橋梁」を建設するという具体的な目的をもって留学され、鷲の巣川橋梁は、PC 鉄道橋として世界で初めてカンチレバー架設で施工された橋梁です。百島様が技術導入して、設計から施工まで全て日本人の手で行い、PC カンチレバー橋を完成させたことでその後の長大 PC 橋梁建設に弾みがつきました。

「鷲の巣川橋梁が施工できるようになる目途がついたら帰ってきなさい」という社命を受けて渡独された百島様、ディビダーク社では、10ヵ月という短期間で、本社設計部やいくつ

かの現場で設計・施工技術を習得し、最後に鷲の巣川橋梁の設計を終えて帰国されたと聞いております。帰国後は、主任技術者として現場を指導され、この橋梁が成功裡に竣工したことにより、ディビダーク工法の鉄道橋への本格的な適用が始まり、長大 PC 鉄道橋の発展に繋がりました。

その後も百島様は、首都高速・渋谷高架橋、日本道路公団・天草4号橋から浦戸大橋、浜名大橋に至る多数の歴史に残る PC 桁橋の設計・施工に関わり、同時に多くの橋梁技術者を育成されました。土木設計本部第2設計部長、土木企画部長を経て、1985年取締役技術研究所長、1988年常務取締役技術研究所長を歴任。技術研究所長として PC 斜張橋・長大アーチ橋の技術開発を主導され、わが国の PC 長大橋の発展に多大な貢献をされました。

技術研究所長時代の1989年、本誌新年号に年頭随想を寄稿されています。そこには「今年は日本一の250mというスパンを有する呼子大橋の開通と、235mという東洋一のスパンを有するアーチ橋の別府明礬橋の完成が予期されるプレストレストコンクリートにとってエポックメイキングな年になります。」と記され、PC 橋梁の大なる発展を喜ばれていた姿が偲べれます。

百島様は、PC の研究業績においても大きな足跡を残されています。1975年（昭和50年）に、「カンチレバー架設したプレストレストコンクリート橋の断面力および挙動の研究」で学位を取得され、同年にこの論文は土木学会吉田賞を受賞されています。1976年に翻訳刊行された H.Rüsch, D.Jungwirth 共著の「コンクリート構造物のクリープと乾燥収縮（鹿島出版会）」は、貴重な技術書として PC 構造技術者に読み継がれました。

また、1999年度（平成11年度）には、土木学会田中賞・研究業績賞を受賞されました。「わが国発展期におけるコンクリート橋の設計、施工、構造・材料特性の解析、および技術開発、特に長大プレストレストコンクリート桁橋のカンチレバー架設、コンクリート斜張橋の開発、コンクリート・アーチ橋のカンチレバー架設等の指導的業績」に対して授与されたもので、PC 橋の建設関係者としては初めての受賞でした。

百島様は、大学時代に吉田徳次郎先生の最終講義をお聴きし、「子孫のために仕事をするのが進歩の要訣である」という吉田先生のお言葉を人生の指針としてこられたそうです。ここに百島様のご生前のご活躍とご指導に感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りしたいと思います。合掌。

【2016年6月8日受付】



ありし日の百島祐信様



鷲の巣川橋梁（岩手県）1962年竣工

* Yoshiyuki NORIHISA : PC建設業協会会長、DW協会理事